

# 健康教育

|                       |    |
|-----------------------|----|
| ☆ 生活学習を志向した健康教育……………  | 2  |
| ☆ 学区全域即学校……………        | 7  |
| ～大自然と人類との接点 そこに教育がある～ |    |
| ☆ 「健康優良児」の誕生を喜ぶ……………  | 10 |
| おめでとう 本島晃君……………       | 12 |
| 晃の日本一に思う……………         | 13 |
| 日本一に選ばれて……………         | 15 |
| ☆ 鈴木浩美さんの受賞に思う……………   | 16 |
| 浩美さんの未来に……………         | 17 |
| 表彰式の感激……………           | 17 |
| 日本一になって……………          | 18 |
| ☆ 〈随想〉肝油と共に……………      | 18 |

特選健康優良児童運動能力テスト風景

朝日新聞社提供



no 66



# 生涯学習を志向した健康教育

青森県三戸郡五戸町立五戸小学校

校長 舘 岩 治

## 1. はじめに

はからずも、本年度大規模校日本一健康優良学校という栄誉に輝くことになった。全く幸運の至りで、何も日本一をめざして、執念的に努力しておったわけではなかった。

創立百年という教育の伝統、しかも、保健的に配慮され、環境美を生かし新築された現代的校舎、多年にわたるPTAの課題解決活動、経営者として5年目、県の代表校に推薦された故もあって、この辺で客観的な中央審査を受け評価してもらうことも、本校教育経営前進のため、有意義であらうと意見一致して応募したのが、本校の実情であった。

ところで、“本校の健康教育について”と問われても、あえて特別目新しい教育経営をやっているわけではなく、日本国中の学校教育がめざしている、教育基本法第一条の目的達成のため、児童や学校、地域の実情に応じ、そこに立脚する健康な人間像を求め、PとTとCが一体となって、課題解決を志向しつつ精進しているのが本校の姿である。

## 2. 生涯学習の志向について

人間が心身共に健全で社会的にも最良の状態で生涯を終えることは、人間として最も幸せであり、これが教育本来の課題である。

しかしながら、これはわれわれが生涯かけて追求し、学習してこそ保持増進されるものであって、21世紀に向って生をうける本校の児童ひとりひとりに、幸せな健康生活と自己実現をめざすとすれば、その生涯に幾多の困難や障害に遭遇することが当然予想される。

かかる課題解決と、逞しく生きぬく心身の健康の保持増進ができる能力、即ち、生産的創造思考力と実践

力が伴う児童の育成に、PとTとCが結びつきを深め、共々、生涯学習を志向して精進しているのが、本校の健康の基本であるといえよう。

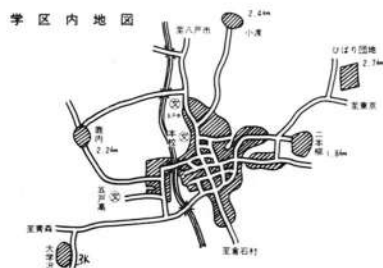
## 3. 地域社会の概況



東北本線八戸駅より南部バス五戸駅まで18K、35分、国道4号線、三戸～十和田市の中間、県南五戸川流域の中心で、古来地方の政治・経済・教育・文化の中心的役割を果たしてきた。

現在、新産都市八戸の一翼を担い内陸型工業地域として発展、将来ベッタウン的、田園都市づくりをめざしている。

町民は明治の初期、会津藩が斗南藩として本町に移住し、会津日進館出身の藩士達の私



塾が本校の前進である。従って教育に対する関心が高く、三浦元農林大臣を始め、中央地方に幾多の人材を送り出していることも、本校の特色であろう。（現分野別博士約50名）

現在教育の町五戸として、健康的町づくりに意欲的で、総合医療センター、運動公園、町ぐるみの学校保健会、教育振興会、子ども会育成会の保健活動等、健康的な環境づくりに成果を挙げている。特に“坂の町”サッカーの町として全国に知られるようになったのは

本校すずかけスポーツ少年団、サッカー部が、県、東北大会で優勝更に中央へとそれが基盤となっていることは見逃せない。

しかも、最近本校の保健教育課題解決に父母の関心が高まり、家庭の協力と参観日の活用によるPTA活動の現代化、学年P+専門部の活動（PTA組織活動参照）PとTとCの組織的結びつきによる、課題解決の研修等、労作教育活動と併せて、その出席研修率80%台を常に示している。

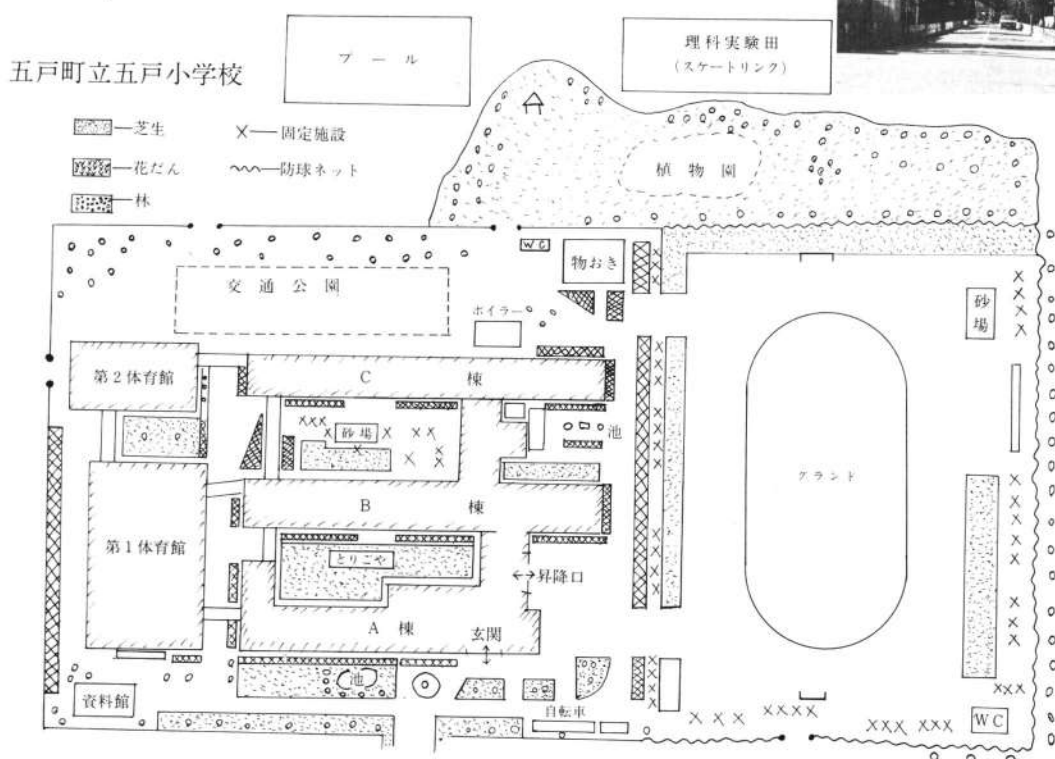


サッカー優勝

#### 4. 本校健康教育の主な歩み

|        |                             |        |                             |
|--------|-----------------------------|--------|-----------------------------|
| 明 6. 7 | 五戸小学として創立                   | 昭45. 8 | 県少年サッカー大会で本校すずかけチーム優勝       |
| 37. 12 | 男子、女子校に分離                   | 45. 11 | 県学校安全教育賞受賞                  |
| 大11. 3 | 男子、女子校を合併                   | 46. 10 | 県学校保健研究大会の会場校として本校保健教育活動の公開 |
| 14. 12 | 現在地へ統合校舎新築                  | 46. 10 | 児童交通学習公園造成                  |
| 昭16. 4 | 五戸国民学校となる                   | 46. 11 | 花いっぱいコンクールにおいて優良校として表彰      |
| 22. 4  | 五戸小学校となる                    | 47. 6  | 校舎前庭に日本式庭園造成                |
| 29. 12 | 創立80周年記念図書館落成               | 47. 9  | NHK音楽コンクールに於いて県優良賞          |
| 34. 10 | 子ども銀行大蔵大臣より表彰               | 47. 10 | 県一健康優良学校として表彰               |
| 35. 6  | PTA文部大臣より表彰                 | 48. 6  | 県、東北一ブロック健康教育研究大会の会場として公開発表 |
| 38. 5  | 校地内に自然植物園造成                 | 48. 7  | 創立百周年記念式典挙行                 |
| 40. 2  | 学研教育賞受賞                     | 8      | 東北少年サッカー大会に於て優勝             |
| 41. 1  | スケートリンク用地買収造成               | 11     | 第二体育館竣工                     |
| 42. 7  | 校地内に水泳プール完成                 | 49. 2  | 校内研、保健体育自主公開発表              |
| 42. 8  | 校舎改築現C棟竣工                   | 49. 11 | 日本一健康優良学校として表彰              |
| 43. 3  | 校舎B棟竣工                      |        |                             |
| 43. 7  | 十勝沖地震の際、人身無事故安全教育賞受賞        |        |                             |
| 43. 9  | NHK音楽コンクール出場10回連続出場の故をもって表彰 |        |                             |
| 44. 12 | 全校舎体育館落成                    |        |                             |

#### 5. 生活学習を培う学校環境



## (1) 学校をめぐる環境

①創 立 明治6年7月31日

②校舎竣工 現 校 舎

C 棟 昭42.10 B 棟 昭43.3

A 棟 昭44.3

第1体育館 昭44.11

第2体育館 昭48.10

③校地面積 33,653㎡

④校舎面積 8,223㎡

⑤教室、特別室

普通教室 32 特別教室 10

管理棟(A棟) 職員室、校長室、放送室、印刷室  
相談室、更衣室、保健室、教具室  
宿直室

そ の 他 体育館、児童会室、銀行室  
各準備室、便所

## (2) 児童の実態

児童数、学級編成(4月8日現在)

| 学年<br>性別 | 1 年   |    | 2 年   |    | 3 年      |    | 4 年 |    | 5 年 |    | 6 年 |    |
|----------|-------|----|-------|----|----------|----|-----|----|-----|----|-----|----|
|          | 男     | 女  | 男     | 女  | 男        | 女  | 男   | 女  | 男   | 女  | 男   | 女  |
| 計        | 85    | 96 | 77    | 68 | 91       | 90 | 88  | 96 | 106 | 91 | 91  | 94 |
|          | 181   |    | 145   |    | 181      |    | 184 |    | 197 |    | 185 |    |
|          | 男 537 |    | 女 536 |    | 合計 1,073 |    |     |    |     |    |     |    |

## (3) 教職員(学校医などを含む)の構成

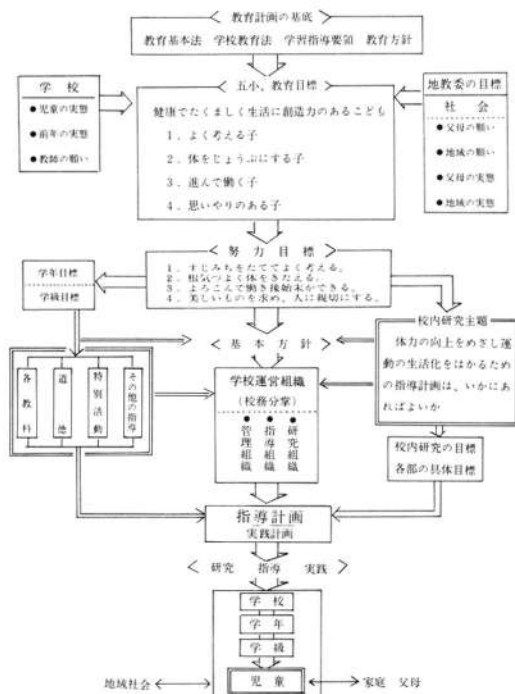
教員数 男18人 女24人、その他の職員3人

|        | 学校長 | 教 頭 | 保健主事 | 養護教諭 | 学校医 | 学校医助手 | 教諭  |
|--------|-----|-----|------|------|-----|-------|-----|
| 年 齢    | 55  | 45  | 38   | 33   | 45  | 50    | 38  |
| 性 別    | 男   | 男   | 男    | 女    | 男   | 男     | 男   |
| 本校在職年数 | 4.4 | 1.4 | 6.4  | 6.4  | 3.3 | 3.4   | 4.4 |

## (4) PTA活動の組織



## 6. 生涯学習の生活化をめざす経営構造



## 7. 生涯学習を培う週及び日課プログラム

| 曜日の教員       | 月       | 火       | 水       | 木       | 金       | 土       |
|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 一 出         | 朝一 8:00 |         |         |         |         |         |
| 一 職員朝会(月・金) | 8:05    |         |         |         |         |         |
| 朝 の 会       | 8:15    |         |         |         |         |         |
| 1 校 時       | 8:30    |         |         |         |         |         |
|             | 9:15    |         |         |         |         |         |
| 2 校 時       | 9:25    |         |         |         |         |         |
|             | 10:10   |         |         |         |         |         |
| 3 校 時       | 10:15   |         |         |         |         |         |
| 校 庭         | 11:00   | 3,4,5,6 | 1,2,5,6 | 1,2,3,4 | 3,4,5,6 | 1,2,3,4 |
| 業 間 指 導     | 11:30   | 1       | 3       | 5       | 2       | 6       |
| 公 開         | 11:35   | 2       | 4       | 6       | 1       | 5       |
| 4 校 時       | 12:20   |         |         |         |         |         |
| 給 食         | 12:50   |         |         |         |         |         |
| 休 憩(30分)    | 13:20   |         |         |         |         |         |
| 清 掃         | 13:35   |         |         |         |         |         |
| 5 校 時       | 13:45   |         |         |         |         |         |
|             | 14:30   |         |         |         |         |         |
| 6 校 時       | 14:40   |         |         |         |         |         |
| 終わりの会       | 15:25   |         |         |         |         |         |
|             | 15:35   |         |         |         |         |         |
| 休 憩(15)     | 16:00   |         |         |         |         |         |
|             | 16:15   |         |         |         |         |         |
| 一 児童退下      | 16:20   |         |         |         |         |         |
| 一 職員退下      | 16:30   |         |         |         |         |         |

○学級指導の保健指導(年11時)安全指導(11時)朝や終わりの会の保健安全指導には保健室活動と併せて、留意関連指導する。

## 8. 生涯学習を培う特徴的教育活動

### ① PとTとCの魅力ある学校づくり

教育百年の伝統拡充、生涯にわたって思い出多い学校にするため、先ず専門職としての教師の研修活動を強力に推進している。

(本校男教師全員、女教師の主力は、町・県派遣の東京教育大その他の内地留学を修了)



学校環境整備PTA労作活動

特に児童の望ましい成長のため、PとTが信愛と信頼の絆で結ばれる組織と活動ができるよう、学年P即専門部活動に切り替え、旧来のマンネリ化から脱皮した。特に恵まれた学校環境の維持改善、家庭や地域の保健課題解決の生産的思考力や実践力を培う教育活動として、学校保健委員会、学年学級の親と子の会、学年全員によるアイデア集会(業間)等、問題により父母児童に参観発言を許し時にレギュラーを替え、議題解決策の浸透やPとTとCの労作教育活動によって、魅力的な学校づくりを推進している。

### ② 音楽教育の生活化をめざして



学年集会の指揮合唱

“生涯にわたって、生活に歌と音楽を”

本校は創立以来、地方音楽教育の中心的役割を果たしてきた。卒業生の中には中央・地方にその指導者とし

て活躍している人が多い。

また、NHK音楽コンクールにも連続出場成果を挙げ表彰されている。本校では天分の伸長はもちろん、誰でもが生涯、生活の場で歌唱・合唱・合奏・指揮ができるよう、全校朝会、学年集会、学級の朝や終会、児童会集会、町内子ども会、学保委、行事で教師・児童交替で指揮、伴奏できるよう指導配慮している。

また、家庭でも家族コーラスができるように毎月テーマソングを定め、参観日の親子の合唱、器楽演奏、ママさんコーラス等、音楽の生活化をめざしている。

### ③ 業間指導タイムの特設

全校学年毎三つの集団にわけ(週計画参照)グラウンドは、週計画による遊びと運動、第1体育館は、学年の保健生活目標達成のアイデア集会、第2体育館、交通公園、植物園ではそれぞれ、ゲーム、交通ルール、マナーの体習、自然観察や芝生での学級の集い等、毎日場所が移動巡回し、恵まれた環境活用と児童と教師児童相互のふれあいを深めている。

### ④ 主体的学習と児童研究活動

生涯にわたって主体的に課題解決できる能力と自己実現の表現力を培うため、学習指導は“教える学習から自ら学ぶ学習へ。即ち、問題把握へ予想～調査～実証～結論へと、その過程の中で教育機器、協力教授等生産的創造思考力を高める校内研修活動を強力に推進し、併せて自己実現、生涯教育の基盤となる児童研究活動への転移指導を意図している。

児童研究は、教科学習、特別教育活動の能力駆使学習として、幅広く自らの健康生活改善の問題を個人、共同、親子で研究し、学年の到達度を定め、質疑応答発表力等問題解決能力の定着化を活発に推進している。



協力教授(理科)学習スナップ



業間学年アイデア集会

### ⑤ 全校体力づくりと積極保健活動

積極的に自己の健康保持と体力づくりを生涯にわたっての生活化をめざしている。

#### (イ) 個人なわとび運動

全校児童、各自進級カードを持ち、十級から一級まで、更に初段から五段まで、名人位など、毎学期能力検定により表彰する。



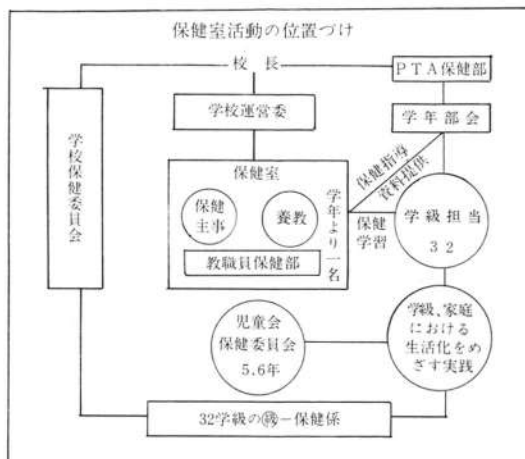
業間における個人なわとび運動

#### (ロ) 世界一周マラソン

毎日、低学年～ 400m、中学年～ 800m、高学年 1500mを目標とし、各自カードに記録、教師、友人、親の認定を得て学級進度表に記入し、全校で世界一周に挑戦する、更に、個人・学級の到達度により表彰する。

#### (ハ) 家庭の保健協力活動

う歯処置、歯みがき運動、眼疾治療・肥満児対策等、本校保健課題解決に、家庭でも親子ともども実践表に記入確認し、三カ月毎に校医の診断治癒証明により、保健実践優良家庭とし、学級も成績により共に表彰する。



#### (二) 保健室活動の循環作用

本校健康教育実践指導の場は、学級経営である。その鍵は保健教育計画の効率的実践である。即ち、保健管理、学級指導の保健安全指導、学校環境衛生、給食保健関係行事等、保健室と学級との組織的に結びつけている。従って本校では保健室活動をあたかも血液循環作用的役割を果たすよう運営している。



三か月毎の校歯科による検診

## 9. あとがき

以上、本校の生涯学習を志向した特徴的教育活動を記述したが、スペースの関係で意を尽せなかったことを詫言いたい。本校のPとTとCは、この榮譽を機会に更に生産的創造思考力を高めるよう精進し、労作教育活動を推進することを誓いあっている。“健康教育は児童で勝負する”と喝破した先人のことばを深く深くかみしめながら……



## 1. 地域の概要

本校は、国鉄静岡駅を北へ20kmはいった山あいの地にある。駅前より静鉄バス薬科(おらしな)線久能尾(きゅうのう)行に乗り、50分程で曲折した谷あいにはさしかかり、茶したけを生産する農家の点在する本校区に入る。やがて山ふところに深く抱かれたクリーム色の三階建鉄筋校舎が大自然とよく調和してその影を黒俣川に写して建つ「清沢学校前」に着く。

明治5年に創立した学校は、静岡市で本校唯一校であったということから、この地がいかに百年の昔から教育に熱心な地であったかが想像され、その伝統は今日も脈々と続いているのである。

昭和44年1月1日、郡市統合で静岡市に合併、46年集中豪雨で裏山崩壊、伝統ある木造校舎埋没、47年新校舎建築、49年またもや未曾有の豪雨に見舞われて通学路寸断という立てつづけの災害にあっている。然しその都度、復旧に立ち向かうPTA地域ぐるみの団結力は強く、その姿はたくましさの一語につきる。学校もまた、災害を得がたい教育の場とした教材化につとめ、その感動をあらゆる思考や実践の再出発点とした。子どもたちにとって災害とは、経験の体系の中へ新しく書き加えられる感動の場であるからであり、感動はわれわれのあらゆる感情を純化するものであると考えたからである。この地域ぐるみのすぐれた結果力が、学校の提唱する「生命の尊厳」を基調とした健康教育と相和していったことは申すまでもない。

## 2. 本校の概要

児童数 163名、学級数 6、教職員11名、事務職員は3年前から、養教は本年度から配置され、他に市職員1名の職員構成である。本校は1級へき地校となっているが、有能な職員に恵まれ、8教科のうち5教科が市の教科専門委員となっている。

教育の場は校舎内だけではないという見地から、学区全域を学校と考え、恵まれた自然の中に教育の創造を求め、からだの健康、心の健康、頭の健康の調和のとれた人間形成をねらい、生涯にわたる全人教育を健康教育とおさえ、「地域に根ざす教育」の推進を教育活動のあらゆる場に展開してきた。

この過程の中で、人類の繁栄は自然界との調和の中にこそ存在するとの認識を深め、学校を取巻く豊かな大自然を教育の場として活用している。

山間地特有の低体位を高める教育への取り組みは、本校沿革の中の重要な課題であったが、健康教育を経営の柱として全面的にとりくんだのは、正確に言って昭和45年度からであるが、やっと今その緒についたばかりといえよう。

以下は、関係事業、表彰の主なものである。

### ○昭和45～46年度

- 健康安全教育(特に寄生虫対策)  
市教育委員会研究委託

### ○昭和46年度

- 学研教育賞受賞(ひびきあう授業の指導法の研究)

● F・B・C 受賞

(当時の花壇は災害のため流失)

○昭和47年度

- 口腔衛生優秀校表彰
- 優良PTA表彰
- 創立百周年記念事業執行

○昭和48年度

- 健康優良学校県一位
- 建設大臣より感謝状を受く(環境保全)
- 口腔衛生優秀校表彰

昭和49年度

- 健康優良学校日本一
- 環境衛生優良学校表彰
- 文部省より教育課程研究推進校(音楽)委託
- 市教育委員会より教科研究(音楽)の2年継続研究委託

昭和50年度(予定)

- 全国健康教育発表大会開催(10月24日(金))
- 全市音楽教育研究発表会開催(2月上旬)
- 文部省より学校保健統計調査実施校指定



### 3. 本校の教育目標

#### (1) 経営の基本

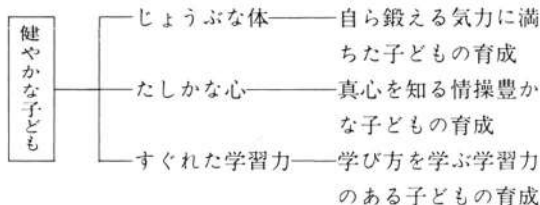
イ、「学区全域即学校」であるとした教育の場の拡大を図ると共に、恵まれた大自然の中での豊かな人間形成を希求し、その生涯にわたる全人教育を「健康教育とおさえ、地域ぐるみの健康優良学校の推進を図る。

ロ、個の確立をめざす人間能力の極限発揮と、連帯としての人間組織の最適化を図る学校づくりに励む。

ハ、場を清め、礼を尽し、時を守るをもって、本校づくりの精神となす。

#### (2) 学校教育目標

じょうぶな体、たしかな心、すぐれた学習力をもつ調和のとれた「健やかな児童」の育成を図る。



### 4. 実践

#### (1) 自ら鍛える気力に満ちた子どもの育成

体でわかり心に感ずる教育への実践面として大自然の中への学習活動の展開こそ本校の大きな特色の一つである。

裏山は格好な築山、林は子ども達のジャングル、前の小川は自然の水族館川原は楽しい砂場森は生きた植物図鑑、山頂までの探索路は厳しい体力づくりの鍛錬の場。

人間疎外という言葉は、本校にとっては全く無縁である。太陽に、川に、山に鍛えてもらえ。これが学区全域即学校とする私どもの最も基本的な姿勢なのである。

イ、これらは、毎週水曜日午後の特設されている「若あゆの時間」の全校特別活動の時間に行なわれている。

この時間は子どもたちが最も楽しみにしている時間である。開放された大自然の中で、夢になって学級づくり学校づくりにとりくんでい

る姿は、開放と収集の教育原理が子ども達をしてそうさせているものであり、その時点においては、教師すら学級集団の一人なのである。

ロ、全校体育として、個の極限発揮をねらうサーキット・トレーニングが第2時3時間目の業間に行なわれているが、体力の消耗が甚しく、それに見合う高カロリーの家庭における食生活の改善が、PTA給食委員会の重要な課題となっている。

ハ、学区内に数本の探索路が作られ、6カ年在学中に郷土を知るための山頂踏破が計画され、体力づくりの一助ともなっている。

## (2) 真心を知る情操豊かな子どもの育成

郷土を誇りとする子どもをつくる教育への実践面として、

イ、民話、民芸、史蹟の保存と教育活動への展開が企画され

○ 民話集「ふるさとの心」の編集や伝説の教材化（創作音楽劇）を行なっている。

○ 学区内の親子史蹟めぐり遠足を、PTA成人教育委員会が中心となって行なっている。

ロ、郷土を「野鳥の楽園」とする学校・地域ぐるみの活動を行なっている。

## (3) 学び方を学ぶ学習力のある子どもの育成

生涯教育の基礎づくりとしての、地域に根ざす教育への実践面として

イ、学習力をつけるために「ひびきあう授業」の指導法の研究をここ数年来行なってきたが、授業の段階として「ハ行の展開」の研究をすすめている。

即ち、授業の導入部分で子どもの一人一人の考えを①きださせ、他人の考えによって自分の考えを②ろげ、教材との出会いによって更に③かめ、矛盾・対立によって④んだと気づかせ、授業の終末部分で⑤んとうか確める意識のもり上りで終わるという展開法である。



給食後の歯みがき  
3. 3. 3方式



児童保健委員  
の活動

ロ、学校と家庭、家庭と社会、社会と学校とのそれぞれの接点に立つPTA活動の本質化につとめている。

その接点として重要な役割を果たしているのが、学校保健委員会であり、子どもたちや親の考えが、家庭や地域をも変革していく先達となっている。

1日、15日を学区保健の日と制定したり、全家庭へシャボネットを設置したり、ハンカチ2枚携行運動や各家庭の菜園拡張計画、家庭保健委員会の推進等は、この学校保健委員会で作案され実践化されていったものである。

## 5. おわりに

教師に課せられているものは、医術ではなく、細やかなるといふ観察眼である。

日常の指導の中にも、経営や実践の中にもまだまだ問題点は山積している現状である。紙面の都合で実践の一部しか申し述べられなかったが、全国の先生方からの暖かいご叱正をいただきたいと存ずる次第である。

健康優良学校日本一。それは決して目的ではなく、あくまでも手段である。

生命の尊厳を基調とする教育のすべては健康教育にこそあり、論理をこえた実践の世界は無限であると信ずるものである。



## 「健康優良児」の誕生を喜ぶ

福井県坂井郡金津町伊井小学校

校長 藤島 清和

### 1. 「日本一」の喜び

水田に囲まれた古びた木造の校舎、全校児童 160名という小さな学校、どこにでもあるような何の変哲もないこの学校が、日本一健康優良児本島晃君の育った伊井小学校である。

私は本島君を健康優良児として推せんした時には、正直なところ彼が日本一に選ばれようとは思ってもみなかった。

あらゆる面ですぐれている本島君のことだから、あるいは県一位になれるかもしれないという期待はあったのだが、それが、全国特選児童、更に日本一健康優良児童に選ばれたのだから、全く予想外の喜びであった。

このことは、本島君及びその御家族の名誉であることはもちろんであるが、また、わが伊井小学校の名誉であり喜びであって、この学校に学ぶ児童たちに誇りと自信をもたせ、大きな励ましを与えてくれたことを、何よりも有難くまた嬉しく思っている。

### 2. 健康優良児の育った環境

本島君のこのたびの栄誉は、全く彼のすぐれた素質と努力、そして家庭に於ける行き届いた教育によるものであって、学校での指導がこれに寄与しているとは余り考えられない。学校では他とちがった特別のことは何にもしていないからである。

従って、他の人々から「日本一の健康優良児を出しておめでとう」と言われると、嬉しいけれども何か面映ゆい気持ちがしないでもないのである。

しかし、学校を含めて、本島君の育った環境の影響を全然無視することはできないであろう。

(1) わが伊井小学校の校下は、美しい空と水と緑に恵

まれた米作を中心とする農村地帯である。学校の近くを竹田川が流れており、その向うには高くはないが山もある。工場もないわけではないが、ほとんどが小規模なもので公害の心配はない。県道も通っているが一部を除いて車の往来もそれほど激しいことはなく騒音に悩まされることもない。塾へ行くという児童もほとんど無く、あっても1週に1回珠算か習字の塾へ行く程度である。

こうした環境にあるため、児童は毎日を自由にのびのびと活動することができる。このことは、健康な体と心を育てるのに大切な要素となるものであろう。

(2) わが金津町では教育と福祉を町政の大きな柱として、教育条件の整備充実につとめており、伊井小学校に於いてもPTAをはじめ校下町民の学校に対する愛情と熱意、教職員や児童の努力によって、地道ではあるが着実な前進を続けてきた。

41年に統計教育による学研教育賞、45年に理科教育によるソニー理科振興賞を受けており、また県花壇コンクールや郡内小学校の各競技会等に於いても毎年相当の成績を取ってきている。

健康教育の面では、町内の各小・中学校ともに保健体育の研究実践に成果をあげており、県や文部省等から表彰をうけた学校も半数に及んでいる。

伊井小学校でも、「つよくがんばるゆたかな子」を教育目標として努力を続けてきたが、48年より町の保健体育の研究校となり「楽しく体力づくりをするための効果的指導法」を研究主題として、進んで体力づくりに励む体育指導、総則(第3)体育のあり方等について研究を進めてきた。

毎日20分の業間体育の時間には、前半は全校児童が学年ごとのローテーションによっていろいろの体育施設を利用して体力づくりにつとめ、後半は学校の周囲の農道のコースを低学年は700m以上、中学年は1000m以上、高学年は1300m以上走った。児童は毎朝登校



49. 11. 3 朝日講堂における健康優良児 (朝日新聞社提供)

すると登り棒や鉄棒、かけ足などをがんばった。冬期は縄飛びや鉄棒の練習が中心になった。これらは児童一人一人の「がんばりカード」に記録され、毎月1回その努力を賞揚された。また、冬期間を除き毎月1回の全校マラソン大会をはじめ校外の各種競技会も行なわれた。

これらのことは、方法に若干の変化はあるが、数年前からずっと続けられていることである。

(3) どこでも行なわれていることではあるが金津町でも町内小学校児童の陸上記録会、水泳記録会、サッカー大会等があり、また子ども会対抗のソフトボール大会、卓球大会も行なわれる。

児童数の少ない本校では高学年児童のほとんどが各種競技会の選手となり練習に参加することになる。子ども会対抗競技の場合は高学年児童の少ない子ども会では3年生、4年生の児童が選手にならなければならないこともある。

本島君の学級(6年生)は男子12名、女子9名の小人数なので当然全員が何かの選手になる。一人の児童が陸上・水泳・サッカー・ソフトボールと各種の競技をこなさなければならないことも少くない。しかも、どの競技会に於ても相当な成績をあげており、優勝した種目も少くないのである。

本島君も、3年生の時から各競技会の選手として活躍してきている。

このことは、児童にとってはかなりの負担になるかもしれないけれども、体力づくり、気力づくりの面では好結果をもたらすことになる。

(4) 本島君の担任である田川庄一郎教諭は、彼が4年生の時から3年間引続いてこの学級を担当してきているが、学校の中堅的存在であり、体育指導のベテランであり、保健主事でもある。体育指導についてはもちろん、自主的で協力的な学級づくりや、たくましく豊かな人間性の育成に努力し成果をあげている。

この学級の和やかで明るい雰囲気、真剣で協力的な学習態度、積極的な児童会活動やその他の奉仕活動、各競技会での見事な活躍など、すべて田川教諭の指導によるものであるといつてよい。

日本一に決まった時「この喜び

を誰よりもまず担任の田川先生にお知らせしたい」と語ったという本島君の言葉は真実であったらう。

(5) 更に忘れてはならないことは、PTAをはじめ校下町民の学校教育への積極的な協力と支援である。運動場にある体育施設などPTAの奉仕作業によって廃品を利用して作られたものも少なくない。48年に建設された学校プールもPTAを中心とした校下町民の強い熱意が町当局を動かして作られたものである。またPTA主催の競技会も行なわれ体力づくりにも一役買っていた。最近5年の間に県PTA連合会より2回表彰をうけているほどである。

以上述べてきたことは、とりたてて言うほどのことではないかもしれない。しかし、本島君が日本一の健康優良児童に成長したと無関係ではないであろう。

本島君の日本一の体と心は意図して作られたものではない。特別の指導があったというわけでもなく、特に恵まれた環境であったとも言えない。家庭のあたたかい配慮のもとに農村の生活の中から自然に生まれてきたものと言える。そして、それこそが本当の健康優良児と言えるのではないかという気がする。

ご家族の今日までのご養育に対し敬意を表するとともに、本島君がこのたびの栄誉を重荷と感ずることなく、今までどおり明るくたくましく成長していけるよう期待するものである。



## おめでとう本島 晃君

担任 田川 庄一郎

11月1日、帰宅するや「さっき東京から電話、本島君が日本一になったと」妻の笑顔の声、私は半信半疑、すぐ自宅、東京へと、たしかめる。喜びと感謝の電話を入れる。「よくやった」すぐ眼前に先日までの晃君の姿が浮かんでくる。東京へ出発の朝の駅頭での見送り「特選になったのだから、気楽に今までの通り頑張ってこいよ」はにかみながら「しっかり頑張ってきます」と旅立つ顔……

前日まで、放課後、全国審査のための練習と、10月30日に行なわれる町サッカー大会の練習、しかも、センターフォードとしてチームの大黒柱、毎日率先して主将としての重責を果たしてきた晃君、22日頃全国審査の日程がとどく、都合の悪いことには、30日は出発する日になっている。サッカー大会には出場できない。エースを一枚欠いたのでは、戦力はグリーンと落ちる。「なーんじゃ」

チームメートの落胆の色はかくせない。

「すまないけど、どうにもならないな」

「ぼくは、東京でがんばるから、みんなぼくの分もがんばってくれ、行く日まで練習は力一ぱいがんばるよ」

チームメートのさびしい顔、そして笑顔……

それからの毎日、二軍に入って練習試合の相手、ひまを見ては、審査への運動練習、こうして出発前の29日まで練習は続けられた。明日の朝出発にもかかわらずおそくまで、チームの練習と、自分の練習と、そしてにわとり当番として仕事を終えて、校門を出たのは、あたりが暗くなった夕暮であった。

そして、栄ある健康優良児日本一……そのまじめさ、級友への思いやり、しんの強さが……そのにじみ出る、子どもらしい子どもとして高く評価され、きつとベストを発揮したのだ。「よくやった」ジーンと胸にこみ上げてくるものと禁じ得なかった。

クラスメート20人の祝福の嵐、思い思いのことばを

白布にしたため、表彰式に参列する。朝日講堂での表彰式、表彰会長から

日本一福井県……正式発表、母子そろって賞状楯の授与、壇上で堂々と答辞を述べる晃君、農村の男子わずか12名の中から選ばれた、日本一の代表、たのもしい姿、感無量、生涯忘れることのできない、喜びと感激に思わず落ちる涙を止めることができなかった。

晃君との直接の出会い、私が4年の担任からはじまり、毎日を共に生活しただけに、あまりにも身近すぎて、日本一などとは、想像もしたこともなく、期待もしたことはなかった。しかし静かに、かえりみる時、やはり日本一に値する子どもであったと思う。

6年になって調査票をみて、担任として、今まで6年児童の中では、特に欠点はないバランスのとれた子どもであり、級中では、ずば抜けた素質の子どもであるとの判断で応募したので、5年までは、健康優良児づくりなどの特別の努力とか指導はしなかったのである。これは、本人の努力の積み重ねと、まわりの環境（家庭、学校）が自然に育てていったものと思う。

さて、学校教育の面からは、本校では、2、3年前から“健康教育”体力づくりと健康習慣の形成に力点をおき、全校あげて推進してきた。

5年になると、体位も体力も、ずばぬけてすぐれ、あらゆる競技、校内外の大会には男子のリーダーとして、陸上・水泳・ボール・卓球・機械運動に優れた記録、能力を発揮し、万能選手として活躍するようになった、それも本人の恵まれた素質はもちろん、ふだんの努力と、大きな大会になればなるほど、練習以上の好記録を生むのは、内に秘めたしんの強さ、根性の賜と言えよう。

## ○体力、体位の記録

5年

- 町陸上記録会 走高跳 1m25 1位
- 郡 " " 1m28 新記録1位

6年

- 町陸上記録会 100m 13秒9 1位
- 走高跳 1m37 1位
- 県下一回学童陸上記録会走高跳 1m35 2位
- 走巾跳 4m70 2位
- 郡陸上記録会 走高跳 1m38 1位

全国審査会（10月31日～11月1日）

身長 162.6Cm 走巾跳 4m91

体重 54.0kg 懸すい 8回

胸囲 84.0cm ボール 56m

学習面では、正しい理解力、論理的思考力、記憶力など、素晴らしい能力をもち、あらゆる課題を自主的に取り組み、がんばり通す意志の強い面を持っている。そして少しも、えらぶところもなく、誰とでも協力的に学習している。

現在は級長と代表委員会議長、テレビ部部长（委員会活動）などをつとめ、明るく楽しい学校づくりを積極的にはげんでいる。級友たちからは、アキ、と呼ばれても笑顔で交わり、男女を問わず、いまだ一度も、けんかをしたことを見たことがない、温厚で、太腹でまた細かいところまで気がつく性格である。

「力が強くていいばらない」

「やさしい」

「友だちの好き嫌いがいい」

「勉強も運動もよくできる」

「スーパーマン」……など級友の人物評である。級中随一の信望を集めている。

このたび、心身共に健康で、日本一の輝かしい栄誉を載いたことは、ほんとうに、素晴らしいことで、これからの人間として、健康に生き抜く出発点である。

作文にも記されてあったように、この陰には、これまでに育てあげて下さったご両親の愛情と、恵まれた環境、いろいろ細かくご指導下さった多くの先生方、地域の方々、それと共に、励まし合い、競いあった多

くの友達のことを忘れてはならない。

今後の決意に

「ぼくは日本一になっても特別に変わってはいない」

「今までのままの自分で、一生けんめいがんばりたい」

「発言をもう少し活発にしよう」

と書いてあったが、近頃、表彰前よりは、一段と活発に成長していく様子が見られ、頼もしく思っている。

将来の日本一中学生

将来の日本一高校生

将来の日本一社会人

を目ざし、大きな希望を夢に、大きく羽ばたくことを心から祈っている

## 晃の日本一に思う



母 本 島 美 智 子

日本一と言う言葉は、私のような平凡な家庭には手の届かない高い所にあり、全く縁のないものと思っておりましたが、この日本一を私の二男晃がしっかりと掌中に握ったのです。

11月2日私は、健康優良児中央審査会場の付添人控室で、晃の審査結果を他の付添の人と待っておりました。

私はその時、晃が健康優良児童特選児童に選ばれ、その付添いとして東京まで来られた事にもう満ち足りた幸福感で一はいでした。ですから、日本一などと言う事は全く考えても見なかったのです。

青年会館に特選児童が集まった時も、晃は中位の体位

しかなかったし、付添の方々を見ても皆自信たっぷりな方ばかりでしたから、特選児童に選ばれたことが全く幸運であったと思っていました。

しかし、前日行なわれた体力テストの結果について晃から今までにない良い記録を出したと聞いておりましたので、私もやはり親馬鹿の一人でしょうか、「もしかすると日本一に」との思いがフウッと私の頭の中に浮かないでもありませんでした。

そして、とうとう審査結果の発表の時がきたのです。

係の人が「日本一健康優良児童は福井県代表本島晃と決定致しました」と発表した時、私は夢ではないだろうかと全く信じられませんでした。後になって不思議に思ったのですが、涙もろい私は、その時涙が全く出ませんでした。あまりに感激が大き過ぎたためだったのでしょう。いやそれもありますが、私はその瞬間事のあまりにも重大さに緊張の方が大きかったためだと思います。

東京からの帰りに、駅前で校長先生をはじめ諸先生方、PTAの役員の方、六年のクラス全員の歓迎を受けた時、はじめて日本一の感激が実感として私の胸を熱くし泣けてきました。

晃は、生れつきのスポーツ好きのようでした。近所の子供達の野球を見て、父親にキャッチボールの相手をせがんだのは4才の時でしたが、幼稚園へ行くようになってからは、小学校の上級生のソフトボールチームに仲間入りしても、競技できるくらい上達し、ますますスポーツに熱中するようになったようです。

小学校へ入ってからは、学校が小さく生徒数が少ないこともあって、3年生になると体格の大きい方であった晃は、好むと好まざるとにかかわらず、陸上競技をはじめ、ソフトボール・サッカー・卓球とほとんどのスポーツの選手に選ばれました。

近年は、伊井小学校が「体育教育研究校」として体育については、特別な力を入れている事もあって、毎日遅くまでの猛練習に、体力だけでなく運動機能も鍛えられたようです。

そのために、毎日の食事が大変で我が家の経済をゆるがすばかりの健啖ぶりを示し、私は毎日の炊事に嬉しい悲鳴をあげております。

私は、身長が150センチくらいで、子供の時から背の低い事にコンプレックスをもっておりましたので、子供だけは何とか人並みの背丈にしたいと日頃思っており、栄養面には苦しい家計をやりくりして気を配っていましたが、これがよもや日本一の健康優良児を育てることになるとは、夢にも思っていませんでした。

また晃が日本一になれたのは、児童の面倒を見る事に非常に熱心な田川先生が担任であった事も幸運でした。健康優良児童の審査に参加してはと相談があった時、私は、田舎のしかも全校児童160人足らずの学校で、体格が他の生徒より少しばかり優れているからと言って、健康優良児と言われる資格等はないとお断りしましたが、しかし先生のたつてのすすめにより参加することになったのです。

全国には、晃よりまだ優秀な健康優良児でありながら、担任の先生が手続きを面倒がったために日本一の栄誉を逃がした不運な児童もおられたのではないのでしょうか。

晃が日本一健康優良児童の栄誉を得られたのは、何と言っても伊井小学校の、このようなすばらしい教育環境に恵まれたお陰でありまして、校長先生をはじめ担任の先生、諸先生方に心から感謝申し上げたいと思います。

晃が今回の健康優良児童の審査結果において日本一の栄誉を得た事は、まず一番私の喜びですが、それよりも私を喜ばせてくれた事は、晃の性格の中に私が今までに全く知らなかった精神的な強さ、即ち、根性が培われておった事です。それは中央審査の体力テストにおいて、自己の最高記録を発揮した事です。日頃の実力を出し切れなかった児童もあったと聞いておりますのに、今までは6回以上は絶対できなかった懸垂を8回まで頑張った根性は、私達両親には全く無い素質であり、これは、日常の体育の猛練習により身につけたものと思います。

夏休みに行なわれた県の体育記録会に出場するため、夕やみせまるまでの猛練習においても、何一つ弱音を吐かず、体育の先生が感心するくらいの頑張りを見せたそうです。その結果、走り高跳、走巾跳に県第2位の記録を出しております。

我が子に対してこのような賛辞を述べることは、親馬鹿の見本みたいと言われるかも知れませんが、願わくば、この身につけた根性を何時までも失うことなくまた、日本一と言う事におごる事なく、将来とも勉学に、スポーツに頑張りを、日本一健康優良児童の健在ぶりを示すような社会人になってほしいと、親馬鹿は期待して止みません。

これからの晃について、私が最も心配する事は、晃はまだ人間としては未完成の小学6年生です。日本一と言う事が、晃の肩に重くのしかかり、これからの長い人生航路の重荷となりはしないかと言う事です。

何とぞまわりの人々も、晃に対して日本一と言う事

で特別扱いにせず、今までどおりの変らないご指導とご慈愛を賜ります事をお願いするとともに、晃の日本一健康優良児により、日本一と言うものがどこにでも

誰にでも、手にするチャンスがあるものと言うことで、伊井小学校の児童達の、今後に多少の励みともなれば幸と存じます。



## 日本一に選ばれて

本 島 晃

ぼくは、11月3日、全国健康優良児童の審査で、日本一に選ばれたわけですが、それまでに、苦しかったことなど、いろいろなことがありました。

はじめて健康優良児童審査会のあることを知ったのは、6月ごろでした。

放課後、先生がぼくを呼び出して、

「今、郡の健康優良児童審査会の通知が来ているけれども、一度受けてみないか。君だったら、いい所までいくと思うがね。」

と、いわれました。けれども、ぼくにとっては、健康優良児童という言葉は、はじめてだったのでよくわかりませんでした。

その後、先生から説明してくださって、健康優良児童審査会というのは、毎年やっている大会で、走り幅跳び、50メートル走、ソフトボール投げ、けんすいの成績と体格のいい児童を選ぶ、審査会だということが初めてわかりました。大会は、郡から県へ、県から全国まで、大会があるということで、日本一だなんて、どうがんばっても、なれやしないと思っていました。先生の話によると、この学校からも、何人か、審査会に出たそうですが、いつも、いい成績でないということで、ぼくは、ちょっと心配になりました。でもやってみなくては、わからないと思って練習をやり始めました。

でも、練習をしている時に、時々いやだなあと思ったり、練習をさぼったりしていたけれども、いっしょに練習をしてくれる友だちに、はげまされたので、しっかり練習をやり始めました。

その成果があつてか、郡でも県でも一位になりました。そして、全国特選健康優良児童に選ばれた時は、家の人や、学校の先生方や友だちをはじめ、親せきの人や、近所の人に、とても喜んでもらいました。

東京へ行く日の朝、先生やPTAの人たちに、見送りに来ていただき、

「全国で十人の中に入ったのだから、あまりかたくならないで、いつも練習をしている時のような気持ちで、自分の持っている能力をふりしぼって、しっかりがんばってください。」

と、いわれました。その時、ぼくは、来てくださった人たちに、

「しっかりがんばってきます。」

と、力強く、答えました。

検査の時、ぼくは、自分の持っている能力を全部出し切って力いっぱいがんばりました。

記録は、ふだんの記録をはるかに上回るという結果になりました。

発表の時「力いっぱいがんばったのだからもうどうなってもいいな」と、思っていました。係の人が、

「それでは、昭和49年度の、健康優良児童日本一を発表します。」

と、いった時

「もしかすると、ぼくの名まえを呼ぶみたいだな。」

と、ぼくは思いました。

「男子日本一は、福井県代表の本島晃君です。」

その声を聞いた時「やった」と思いました。それと同時に、思った通りになってしまったので、びっくりしました。

ぼくが日本一になれたのは、ここまで育てていただいた両親、いろいろ指導していただいた先生方、それに、いっしょに練習してくれた友だちのおかげだと、感謝しています。

表彰の時、朝日新聞社の社長さんから賞状と楯を頂きとても感激しました。この感激を忘れずに、日本一にはじないよう立派な中学生に、なりたと思います。



## 鈴木浩美さんの受賞に思う

茅ヶ崎市立柳島小学校

校長 飯尾 福治

本校が相模川の東岸河川敷に建設されたのは、昭和44年春のことでした。私は、47年9月の赴任で当時の様子はよく判りませんが、聞くところによれば、全校児童7割以上が団地っ子で、明朗で社交性があり、体位も恵まれている反面、いわゆるもやしっ子が多く、ねばり強い意志と体力に欠けていたと言われます。とび箱をとべる子は少なく、さか上がりもマット運動もおぼつかない様子を見て、これではいけないと全校をあげて体力づくりに取り組んだのであります。

きょう1月14日は、全校風上げ大会です。大山おろしの寒風の中で、子どもたちは元気いっぱい運動場をかけまわっています。千数百の大小の風が青空に乱舞する様は、まことに壮観と言えるでしょう。あの子どもたちの中に、健康優良児日本一の栄冠を得た鈴木浩美さんも平凡な一人の児童として嬉々の声をあげてとびはねています。そう思うと、まことに感無量なものがあります。

鈴木浩美さんを学校代表として推せんした時、日本一になろうとは、正直言って想像もしていませんでした。健康・体力・学業・性格のどれをとっても優秀であることは承知していましたが、どちらかと言えばおっとりとした感じでいかにも子どもらしく、大人なみの背の高さもあり目立たないくらいでした。しかしこうして日本一の栄冠を獲得されたいま、あの広い表彰式場で、各地方代表の特選児童に互していささかの遜色もなく、ひいき目にもせよ、大きくぬきん出て堂々としている姿を見て、ああやっぱりと一人頷いたことでした。

浩美さんは、児童会の代表委員会議長の他、運営委員長、学級委員、バレー部々長など、六年生として全校のお姉さん役をつとめています。担任の北原先生のお話では、自分から進んで団地周辺のマラソンを励行するなど、行動が積極的で意志の強い反面、思い

やりが深く、相手の立場に立って考えることができるので、級友の信望があつのだそうです。

しかし、本人の努力は当然のこととして、その陰にご両親のご丹精のあったことを見逃すことはできません。団地のごく普通のご家庭と拝見しますが、その平凡な日常の中に子どもに対する深い愛情と、教育へのすぐれた見識が潜んでいたのでしょう。私はこの点に心からの敬意をささげるものであります。

子どもの健全な成長は、浩美さんの例にまつまでもなく、本人の資質と同時に、よい環境が何より大切です。家庭と学校、そして広く地域社会が一体となって、よりよい教育環境をつくるよう努力していかなければなりません。本校では体育を中心とした体力づくりを進めるとともに、県・市当局やPTAのご援助を得て、学園の緑化にも取り組んでおります。

今後も、この名誉ある表彰を契機として、緑に恵まれた環境の中でより底辺の厚い、全校あげての健康優良児を育てていきたいと願っております。



日本一健康優良児表彰式後 横浜市の国立「こどもの国」にて

(朝日新聞社提供)

## 浩美さんの 未来に

担 任

北 原 由 紀 子

黙々と学習にとりくみ、整然と解答する浩美さん。霜どけにぬかるんだ校庭で泥だらけになってサッカーボールを追う浩美さん。学級会や代表委員会で、みんなの意見を懸命に引き出し、まとめていく浩美さん。清掃の済んだ教室をもう1度ていねいに見直している浩美さん。間違いがあるとニコッと笑い、それから真顔になってその原因を追いはじめる浩美さん。いつもみんなの期待に応えてくれる浩美さんでした。

4年生のときから受け持って、いろいろな場面で彼女の健康優良児に相応しい資質を見てきていながら、「日本一」の報はやはり嬉しい驚きでした。39人のクラスメートとの学校生活の中では、彼女が比較的苦勞とか、血のにじむような努力とかいったこととは、緑の薄い児童であったせいかも知れません。

学習にも遊びにも、いつも伸び伸びと参加していました。その体格だけでなく、彼女の日常の行動が感じさせる大きさを、彼女の級友達といっしょに、いつかあたりまえのように思ってきたのです。

ですから、今回の受賞のお祝いも、真先に「おめでとうございます」と申し上げたかったのは、浩美さんの御両親に対してでした。子の成長に心を砕くのは、どこの親御さんでも同じでしょうが、浩美さんに素晴らしい資質を与えはぐんできた最大の場は家庭に他ならないのですから。

そして、未来（これから）に大きな希望と夢を託している浩美さんには、非常に厳しいものではありませんが、あらゆる励ましを籠めて、表彰式場で審査委員長が言われた。

「今日の健康優良児、明日の優良児ではない」ということが、何よりのはなむけのように思われます。

今後多くの目が彼女に注がれていくでしょう。同時に浩美さんも、自分自身をしっかりと見詰め周囲を見詰めて、より広い社会に触れ、心身ともに健康な社会人に成長していくことと思います。



「健康優良児女子日本一神奈川県茅ヶ崎市立柳島小学校鈴木浩美さん」と、11月3日朝日新聞社の講堂で受けた表彰式の感激は、当の浩美はもとより家族にとっても生涯に残る大きな喜びの一つとなりました。

生まれた時は体重2800g身長50cmと標準をやや下回る身体で、母乳が一滴も出ず人工栄養でしたが、病氣一つすることなく育てる事ができました事は、母親として幸せに思っております。思えば誕生から今日まで私が心がけて参りました事と云へば、規則正しい生活をする事と食べ物の好き嫌いをさせなかったことくらいでした。

柳島小学校開校と同時に入学した浩美も、もう6年生、当時は運動場も広く、学校の行き帰りの道沿いは四季おりおりの自然にふれ、そのうえ海にも近く、夏には真黒に日焼けして、クロンボコンクールで1位となりクロ美のあだ名をいたゞくほどで、とても恵まれた環境でした。

丈夫だったせいかスポーツを好み、3年生より団地内のスポーツ少年団バレー部に入団し、東洋の魔女にあこがれ、早くもオリンピックに夢をはらせております。

47年度には、柳島小学校が市体育研究指定校となり、先生方が児童の健康教育に並々ならぬ努力を払われた

ことが、このたびの受賞につながったものと、校長先生をはじめ、諸先生方に厚くお礼を申し上げる次第でございます。

浩美も4月から中学生となりますが、昨年来の悪性インフレによる物価高騰、交通戦争、光化学スモッグ無秩序な開発に伴う自然破壊、そしてまもなくふりか

かって来る受験戦争……等と受難が待ちかまへております。

これまでの健康を過信することなく、健康教育の趣旨を理解して、この賞に恥じる事のない人生を歩んでほしいと願っております。



## 日本一になって

鈴木浩美

日本一決定までの3時間余の間、私は、審査にはベストをつくしたのだから、日本一になれなくても…。と思いつつも、一方では、日本一になれたら…。と思っていました。

「女子日本一、神奈川県 鈴木浩美さん」の発表に、私はもう天にも昇る気持ちでした。

ふり返ってみると、学校代表となり、市の審査会に臨んだ時から、自分でも情けなくなるほど、けん垂の記録が悪かったので、その練習を主としてソフトボール投げ等のトレーニングにはげみました。

中央審査会でもけん垂の記録が伸びたことが、何よりうれしかったです。

でも、私が日本一になったことは、もちろん自分一人の力では、ありません。

幼稚園、小学校の先生方、スポーツ少年団の指導者の皆様の愛情のこもったご指導と学校のたくさんのお友達の友情、そして両親のおかげなのです。

発表の後、審査委員長の先生が

「この表彰は第一歩です。これからも、立派な社会人になってください」

と、おっしゃいました。

私は、このことば通り、立派な社会人になるよう、努力していきたいと思います。

## 〈随想〉 肝油と共に

千葉市立養護学校

養護教諭 及川うた

カタ、カタ、トン、トン、コト、コト、肝油の缶を振りながら保健室に近づくこどもの足音。来たな！私はしごとの手をやめて待つ。

「カンユクダタイ」「先生、肝油もっていくよ」あるいは無言で肝油をつかむ子、小学部1年生から中学部3年生までの巾広い学年層からくくこども達の姿はさ

まぎまであるが、自分の学級の人数分だけの肝油を数えてもっていくのが本校保健部の係活動の一つである。

知恵おくれを対象とする本校の児童・生徒の中には一人当たり2粒の肝油を学級の人数分だけ数えられなかったり、間違うのは当然である。指を折りながら数える子、1、2、3、4と声をたてれば数ができるのに、

肝油をもつと口が手がバラバラになってしまう子、昨日は5つまでできたのにきょうは6つとは進めない子丸1カ年かかってもついに10の数が覚えられなくて、1枚の厚紙に学級のお友達の似顔を書いて、その上に肝油を置いていくことで肝油くばりができた生徒もあったが、数の勉強のお手伝いも根気がいるし、教材の創意工夫？も保健室で行なう私の個人指導の一端であろう。このように、毎日、肝油を通じてこどもとのふれあいのひとときがあるが私の生きがいもあるように思う。

さて、私と肝油の出合いはこうである。年令がわかってしまうけれど、昭和の初期に現在の千葉市立本町小学校に入学した。歴史と伝統を誇る小学校で、当時全国でも有数な学校保健優秀校であったそうで、そのころの研究物が現在も貴重とされている。この小学校に入学した私は幸運ともいえるが、子どものころは体が弱く、青びょうたん、こんにゃくさんおばあさんなどと有難くないあだ名と、健康診断では栄養と概評が丙をつけられて虚弱児の見本であったらしい。体育もいつも見学ばかりで雨降りには殊にうれしかったと覚えている。学校保健の先進校であったのでいろいろな対策とその恩恵にあずかった。その一つが肝油である。

#### 昔の肝油

猪口（チョコ）のような器にドロリとした液体が注がれそれを飲まれた、生臭さとヌルリとした舌ざわりに毎日泣く思いであった。目を閉じ、鼻をつまみ一息にのもうとするがのめるものではない、当時最高の栄養剤であったのだろうか、体が丈夫になれると信じてがまんの子をつづけた、1日2銭の肝油代金も忘れられない。

#### 与える身となって

おかげをもって何年か後に、現千葉市立新宿小学校、当時千葉第一小学校に養護訓導として奉職する身となった、大東亜戦争がおこり、軍国日本、強兵政策がとられて教育の中に鍛錬と養護の言葉が多く用いられた、そのころとしては珍らしく身体虚弱児を対象にした養護学級が三学級も設置されて、私の執務の中にその子ども達の指導があった。世話を受けた身がこんどはお返しする番である。肝油も次第に改良されて、注入器で口にに入れてはすぐに口なおしのドロップがついていた。きめられた時間に養護学級にいつは肝油を与え、その他太陽灯照射

特別身体検査が行なわれたり、私の執務内容もいまの言葉でいうと心身に問題をもつ子どもの保健教育に傾注した。若き日の思い出として今もたのしいが、しかし、戦局は日毎に不利となって物質不足、肝油もいつか中止になってしまった。更に終戦、食糧事情の逼迫、諸条件の悪化で、子どもたちの体位はどんどん低下し憂慮悲しむべき状態になっていった。

#### 養護学級の再開と肝油

昭和31年5月、現新宿小学校に虚弱児対象の養護学級が新設された。戦後10年まだ結核が多く発育不良、肢体不自由児もいたが毎日の肝油投与がとりいれられた。肝油は更に改善されて糖衣錠となり、子ども達に好まれたことはよろこばしい。

#### 養護学校での肝油

昭和39年4月20有余年お世話になった新宿小学校から千葉市立養護学校に転任した。生徒数は少いが、ひとりひとりの心身に何らかの障害があって保健面での対策も重要視されている。特に身体発育の遅れ、栄養のアンバランス、行動の不活発、保健的習慣などがあげられるが、体力づくりとして肝油が職員より提案されて実施にうつったが、10年を過ぎた今も毎日継続されている。肝油にまつわる話題も多い、夏休用の1缶を持参させたら一度に食べてしまった子、ある時は体育時にこどものトレパンから肝油がこぼれ落ちたこと、美味しいので保健室から一つかみ失敬してトレパンのポケットにに入れておいたのがうっかりバレてしまった話、他は略させてもらおう。

40日間の夏休みが終ったいま、子ども達の健康状況が一番気遣いであり、私の神経が緊張しているときである、でも、みんな元気で目立つ体重減少者もない。これも毎日服用する肝油の賜かとも思う。

肝油と共に歩んだといっても過言でない私、次代を背負う子ども達の健やかな成長を祈ってペンを置く。

49. 9. 7

#### あ と が き

- 恒例による表彰式場で、朝日新聞社々長のあいさつ審査委員長の経過報告、文部・厚生両大臣の祝辞、そして、むべなるかなと肯ける日本一に選ばれた学校長・児童の答辞、さらには、日本一となった先輩たちの紹介と、型通りの進行でありながら、いつも新しい感激に胸の迫る思いが湧くのはなぜであろうか。
- また、年1回この特集のためにお寄稿いただいた玉稿を編集しながら、そのご努力に対し尊敬の念が高ぶるのはなぜであろうか。
- お忙しい中からのご寄稿に感謝するとともに、より一層のご発展とご多幸を祈ります。

## 昭和49年度健康優良学校・児童

| 健康優良学校 |                                                                                                                                     | 健康優良児童 |                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 十二学級以上 | 日本一<br>特選<br>青森県三戸郡五戸町立五戸小学校<br>岡山県赤磐郡瀬戸町立江西小学校<br>愛知県岡崎市立連尺小学校<br>熊本県熊本市立城東小学校<br>神奈川县小田原市立本町小学校<br>都道府県代表校代表<br>栃木県塩谷郡高根沢町立阿久津小学校 | 男      | 日本一<br>特選<br>本島 晃<br>高橋 裕彦<br>石井 博幸<br>渡部 浩司<br>足立 賢<br>佐々木 賢<br>山下 正純<br>久木 晃<br>重本 亨<br>佐々木啓一<br>福井県坂井郡金津町立伊井小学校<br>宮城県古川市立古川第一小学校<br>秋田県横手市立栄小学校<br>山形県酒田市立松陵小学校<br>東京都新宿区立戸山小学校<br>神奈川県小田原市立富水小学校<br>静岡県磐田市立東部小学校<br>石川県鳳至郡門前町立櫛比小学校<br>島根県大田市立大田小学校<br>大分県大分市立竹中小学校 |
|        | 日本一<br>特選<br>静岡県静岡市立清沢小学校<br>島根県松江市立本庄小学校<br>富山県砺波市立東野尻小学校<br>茨城県結城市立絹川小学校<br>香川県三豊郡豊中町立笠田小学校<br>都道府県代表校代表<br>山口県厚狭郡山陽町立厚陽小学校       | 女      | 日本一<br>特選<br>鈴木 浩美<br>菅原 由美<br>大隅しげ子<br>薄井 孝子<br>渡辺久美子<br>松尾 金<br>石井 佳子<br>室 晴美<br>山奥 智子<br>赤澤 貴子<br>神奈川县茅ヶ崎市立柳島小学校<br>宮城県仙台市立原町小学校<br>秋田県横手市立栄小学校<br>茨城県日立市立助川小学校<br>東京都中央区立築地小学校<br>新潟県新潟市立東山ノ下小学校<br>三重県鈴鹿市立飯野小学校<br>富山県西砺波郡福岡町立福岡小学校<br>香川県高松市立亀阜小学校<br>愛媛県松山市立道後小学校 |

学童の健康づくりに！

カワイのビタミンAD剤

カワイキャンドロップM

1粒中 { ビタミンA 2,000国際単位  
 ビタミンD<sub>2</sub> 200国際単位  
 リン酸水素カルシウム 65mg

カワイ肝油ドロップ

1粒中 { ビタミンA 2,000国際単位  
 ビタミンD<sub>2</sub> 200国際単位

アドロップC

1粒中 { ビタミンA 2,000国際単位  
 ビタミンD<sub>2</sub> 200国際単位  
 ビタミンC 30mg



河合製薬株式会社

東京都中野区新井2-51-8

河合研究所

東京都中野区中野6-3-5